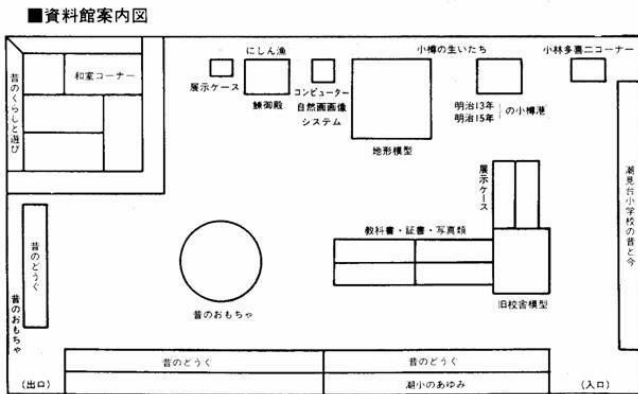


郷土資料館

- ◆開館時間 9:00～16:45
- ◆休館日 年末・年始休業日、毎週土・日曜日、学校休校日
- ◆場所 潮見台小学校2階



地域の教育文化遺産を掘りおこし、PTA・同窓生・地域の人々が一体となって創設。「小樽のおいたち」「昔のくらしと遊び」「昔のおもちゃ」「昔のどうぐ」「潮見台小のあゆみ」「潮見台小学校の昔と今」等、勝納川河口周辺のあゆみのほか小樽や学校の昔と今を対比させて構成しているのが特色です。

郷土資料館設立の趣旨

この郷土資料館は、小樽で一番早く開かれた勝納川流域の新富・勝納・潮見台・真栄地区発展の歴史と本校の歩みを、生活・教育・文化等の資料によって、蘇らせようという構想で設けられました。ここには、勝納川流域の地形模型、小樽の歩みを映すテレビフォトシステム、昔の学校・生活用具・玩具等が展示されています。

本校では、この資料館を児童に郷土を見直す「ふるさと教育」や社会科教育の場にすると共に、同窓生や地域の人々が思い出を語り合う「ふれ合い」の場に活用したいと考えています。この資料館は、PTA・同窓会・町会の皆さん、市長さんはじめ市や教育委員会関係の皆さんの全面的なご支援で完成したものです。

1988年11月2日 小樽市立潮見台小学校

郷土資料館



資料館の全景



昔のおもちゃコーナー

小林多喜二コーナー

小樽が生んだ代表的作家で「蟹工船」や「不在地主」などを書いた小林多喜二は、大正5年の本校第15回卒業生です。この顔写真は、展示されている卒業記念写真より転写したものです。

●小学校卒業時の多喜二